

近畿地方向け基本方針

- 近畿地方の6つの放送局は、地域社会の維持・発展に貢献することを使命とします。
- 地域の人々の安全・安心を支えるため、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えて、日頃から防災・減災に資する情報を伝えるとともに、災害発生時には、正確できめ細かな情報をテレビ・ラジオ・インターネットそれぞれの特性を生かしながら迅速に伝えます。特に大阪放送局は、首都直下地震などに備え、本部代替機能を一層強化するほか、西日本のBCP強化も視野に、災害時の広域的な支援体制を構築します。また、新型コロナウイルスなど感染症に関する確かな情報や、地域課題とその解決につながる情報を積極的に発信し、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たします。
- 選挙報道では、統一地方選挙(4月9日、23日)などにおいて、正確で公平・公正な報道で視聴者の信頼に応え、健全な民主主義の発展に寄与します。
- 地域活性化に貢献するために、2025年の日本国際博覧会(大阪・関西万博)をはじめとして、近畿地方が誇る歴史・伝統文化・芸術・観光資源などの多彩な魅力を、近畿だけでなく、全国・世界に発信します。また、活動が盛んなアマチュアスポーツをはじめ、地域に根ざしたプロスポーツなど、近畿地方のスポーツを盛り上げます。
教養や福祉、娯楽など多様なジャンルで、質の高いコンテンツを充実させて、人々の生活や心の豊かさに役立つよう努めます。
- 近畿地方の各局は、ネットワークを生かし、地域向けにきめ細かな情報を伝えるとともに、近畿地方を取り上げたアーカイブスも活用するなど、地域のニーズにあわせたコンテンツの強化で、“新しいNHK”を感じてもらえるよう努めます。

各局の重点事項

大阪放送局

- **近畿地方における情報発信の拠点として、視聴者が必要とするコンテンツを提供します**
報道・教養・娯楽など各ジャンルで、視聴者の役に立つコンテンツを提供し、公共メディアの価値を実感いただけるよう努めます。平日午後6時台の地域向けニュース番組や週末の情報番組などの内容をより充実させるとともに、地域の魅力を紹介する番組、伝統芸能番組など日頃からお伝えしている番組についても内容を強化し、視聴者に満足いただけるよう取り組みます。
- **アーカイブスや中継番組、特集番組を活用し、多様なニーズに応えるコンテンツを提供します**
幅広い年齢層の多様なニーズに応えるため、バラエティーに富んだコンテンツを提供できるよう努めます。近畿地方の豊かな自然や文化、そこに暮らす人たちの営みなどを記録した豊富なアーカイブスを積極的に活用します。また、スポーツ中継や芸術、エンターテインメントを扱った番組を随時放送するとともに、さまざまなジャンルで新たな演出に挑戦する番組にも積極的に取り組み、多くの人たちに満足いただける放送を目指します。
- **コンテンツ情報を積極的に発信するとともに、NHKプラスを活用し、視聴機会を確保します**
放送・デジタル・イベントなどさまざまな手段を活用して、積極的にコンテンツに関する情報を発信し、視聴者に向けてコンテンツが届くよう努めます。あわせてNHKプラスを利用することで、番組を見逃した場合や外出先などでもコンテンツをご覧いただけることを周知し、視聴者の視聴機会を確保します。

京都放送局

- **“文化首都”を目指す都の伝統文化や美しい景観を全国・世界に発信します**
2023年、文化庁が京都に移転します。京都市が“文化首都”を目指すのに合わせて、千年の都が育んできた伝統行事や国宝などの文化財、自然と歴史が調和した美しい景観を、超高精細映像で記録し、全国・世界に発信します。同時に、京都放送局の8Kプラザを活用し、地域の人たちに京都の魅力を多角的に体験していただく関連イベントを開催します。
- **府内各地域の魅力と課題に目を向け、地域の人たちとの結びつきを強めます**
平日午後6時台のニュース・情報番組で、府内の26市町村を順次回り、地域の魅力を掘り起こすとともに、地域の課題とその解決につながる情報を積極的に発信します。また視聴者からの素朴な疑問に答える「こえきく！！プロジェクト」を継続します。コロナ禍での悩み、行政に関する疑問、子育てや教育に関する困りごとなどを定期的に紹介し、それを出発点に、番組・イベント・キャンペーンなどを実施し、解決の糸口を探っていきます。

神戸放送局

- “兵庫五国”の多様性を大切に取り上げ、地域の放送局としての存在意義を高めます
摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国からなる兵庫県は、文化、風習も多様性に富んでいます。取材・放送のスキルを持つ外部機関とも協力しながら、これまで以上に丁寧に各地域の“今”や暮らしを取り上げます。地域応援キャンペーン「たっぷり！」なども適宜展開します。また“日本のジャズ発祥の地”神戸では、2023年が、最初のジャズバンド結成から100年にあたります。こうした地域で育まれてきた文化の発信の担い手としての役割を果たし、兵庫県の放送局としての存在意義を高めていきます。
- 放送とデジタル発信で幅広い視聴者に届け、“頼りになる”放送局を目指します
多様性に富む兵庫県の各地域の政治・経済の動きや地域課題などを掘り起こし、解決の糸口を探っていきます。また、2024年1月で発生から29年が経過する阪神・淡路大震災の記憶、教訓を伝え続け、近い将来に予想される南海トラフ巨大地震をはじめさまざまな災害への備えにつながる情報を発信し続けます。さらに、放送だけでなくSNSなどデジタル分野でも積極的に発信し、地域の人たちに、課題解決や安心につながる情報を、いち早く届ける“頼りになる”放送局を目指します。

和歌山放送局

- 南海トラフ巨大地震、災害に備えます
南海トラフ巨大地震をはじめとした災害から命と暮らしを守り、犠牲者ゼロを目指す“守るプロジェクト”を全局体制で展開します。平日午後6時台のニュース・情報番組で、防災・減災に関するニュースや情報を積極的に伝えるほか、FMラジオでも、県内のコミュニティFM局と連携して防災番組を制作・放送します。また、台風などの気象災害が激しさを増す中、2011年の紀伊半島豪雨の記憶を次の世代に伝えるとともに、災害の教訓をどう生かすか検証し、大雨洪水や土砂災害への警戒を呼びかける取り組みを続けます。
- 和歌山県内各地域の魅力と課題を掘り下げて伝え、県内外に広く発信します
過疎・高齢化、新型コロナウイルスなど和歌山県が抱える課題について、平日午後6時台のニュース・情報番組で掘り下げて伝え、課題解決に向けた取り組みやアイデアを紹介します。また、番組では、県内の1つの市町村を集中的に取り上げるシリーズを展開するなど、さまざまな方法で地域の魅力や地域で活躍する人々を紹介します。制作したコンテンツはNHKプラスのほか、ホームページやSNSも使って県内外に広く発信します。

奈良放送局

- 奈良の課題を掘り下げ、安全・安心な暮らしに貢献するコンテンツを発信します
平日午後6時台のニュース・情報番組は、さらに内容の充実を図ります。4月に行われる知事選挙や日頃の取材などを通して、コロナ禍からの産業の回復や少子高齢化、子育て支援、介護・福祉・医療の充実、インフラ整備など地域の課題を探り、解決に向けたヒントを提供します。また、2011年の紀伊半島豪雨の教訓の継承に取り組み、防災・減災に役立つ情報を発信し、県内の視聴者に信頼される放送局を目指します。

- **歴史・文化など奈良の魅力を発信し、地域の人が元気になる話題を提供します**

世界遺産や国宝、貴重な自然など、奈良の魅力を超高精細映像で記録し、放送やデジタルで県内外に幅広く届けるとともに、NHKの4K・8Kコンテンツを活用した視聴者サービスの充実を図ります。また、サッカーJリーグに新たに参入する「奈良クラブ」など、地域の明るい話題や多彩な分野で活躍する人々を取り上げ、若者をはじめ幅広い世代が地域に誇りをもち、地域が活気づく話題を発信します。

大津放送局

- **滋賀にこだわり、地域の課題解決、安全・安心に貢献します**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、新型コロナウイルスや少子高齢化や地場産業の活性化など地域の課題をきめ細かく取材し、解決のヒントとなる情報を発信します。テレビの防災コーナーやFM ラジオでの防災番組を充実させ、災害の際には、テレビやラジオ、インターネットなどあらゆる手段で最新の情報を発信し、地域の安全・安心に貢献します。

- **歴史的な遺産や自然、伝統など滋賀県の魅力を広く発信します**

滋賀県で起きた戦国時代の合戦など歴史上の出来事にあらためて焦点をあて、わかりやすく伝えるほか、びわ湖に代表される豊かな自然や各地に残る伝統文化を丁寧に取材し、滋賀県内をはじめ関西や全国に向け番組を発信します。また高校野球やバスケットボールBリーグ「滋賀レイクス」など地域に根ざしたスポーツをニュースや番組、中継で積極的に取り上げ、地域を元気にします。